

沖縄県うるま市の養豚場で CSFが発生！（国内52，53例目）

52例目

【飼養状況】 393頭

【発生の経緯】

1月6日（月）：農場から、飼養豚が死亡しているとの報告を受け、
沖縄県は、家畜防疫員による立入検査を実施。

1月8日（水）：農研機構動物衛生研究部門による遺伝子解析の結果、
CSFの患畜であると確定。

※同じ飼養者の別農場（同市）の飼養豚（432頭）もCSF疑似患畜と確定。

53例目

【飼養状況】 921頭

【発生の経緯】

1月7日（火）：沖縄県は、52例目の発生農場に隣接する農場への
家畜防疫員による立入検査を実施。

1月8日（水）：沖縄県の検査によりCSFの疑似患畜であると確定。

- ・引き続き適切なCSFワクチン接種の継続をお願いします。
- ・ASF(アフリカ豚コレラ)対策も含め、ウイルスの農場内への侵入防止対策を実施してください。

自分の農場を守るため 飼養衛生管理基準の遵守を！

- ①衛生管理区域への病原体の持込み防止と消毒、車両消毒の徹底！
- ②早期発見と早期届出
- ③飼養管理の記録と保管

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

中央家畜保健衛生所：電話番号 058-201-0530